



# KFP通信

平成 21 年 12 月 第 17 号  
鶴沼小 P T A 自主活動  
KFP 鶴沼おやじパトロール隊

鶴沼小学校保護者及び近隣町内会の皆様へ



日に日に寒さが厳しくなってきました。日が暮れるのも早くなり、子供たちが遊びや習い事から帰ってくるころはもう真っ暗といったことが多いと思います。ここ鶴沼地区は比較的安全な街といわれますが、近隣地区も含め、公然わいせつ、ちかん、声かけなどの事例が報告されています。子供を一人にさせない、防犯ブザーの使い方を確認するなど、防犯意識を高めていきたいものです。

さる 12 月 6 日（日）、校外委員、KFP 合同活動として、“地域安全マップ作り”を行いました。くらし安全指導員の協力で開催したイベントですが、子供たち自身の“防犯力”を高めるとてもいい機会になりましたので、その模様を報告したいと思います。

① まずは、くらし安全指導員のレクチャー。『入りやすく、見えにくい場所』が危険な場所という説明を受けました。

② 次にグループにわかれて、それぞれの担当（リーダー、カメラ係、地図係、インタビュー係など）を決めた後、フィールドワークに出発です。今回は、できるだけ自分の家のある地域を回るように、グループ分けしました。

③ 子供たちが、レクチャーで説明されたような犯罪が起きる可能性がありそうな場所を見つけ、写真を撮り、地図にマークしていきます。また、地域の人にインタビューし、周辺の状態を教えてもらったりします。

④ 学校に戻り、安全マップの作成をします。そして、グループごとに発表。

今回作成した安全マップは鶴沼小学校の 2 階の渡り廊下に前回分と合わせて展示してあります。



## ! Point 『入りやすく、見えにくい場所』とは？

- ☆ 見通しも良く安全と思われる公園でも、奥にある物置倉庫の裏は民家の塀と木々に覆われ死角になっていることがあります。
- ☆ だれでも入れるマンションなどの駐輪場。
- ☆ 大木と社により、人目に付きにくい死角がある広場。
- ☆ 生垣の高い壁があり昼間でも日当たりが悪く、人目につきにくい路地。
- ☆ 万年塀と窓の少ない民家に囲まれ死角ができてしまう駐車場。



鶴沼地区では、各町内会での防犯パトロール隊が夜間パトロールを実施して、朝はおはようボランティアの方が子供たちを見守ってくれています。地域全体で防犯に取り組めば、鶴沼地区から不審者が少なくなると思います。町内のパトロール隊、おはようボランティアの皆様ありがとうございます。



KFP（鶴沼小）は今年度も学校、地域、地区に密着したパトロール隊を目指して行きます。隊員も随時募集しています。鶴沼小学校保護者（お父さん）の参加をお待ちしています。皆様のご協力をお願い致します。 隊長